

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2019年6月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで57年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、批評活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する制度「月間賞」を運営しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナー、シンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<http://www.houkon.jp/galaxy/database.html>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤

〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <http://www.houkon.jp>

放送批評懇談会



2019年6月度ギャラクシー賞月間賞

よるドラ「腐女子、うっかりゲイに告る。」

4月20日～6月8日放送 23:30～24:00 日本放送協会

「腐女子」と「ゲイ」という額縁の中に、みずみずしい青春ドラマが描かれた快作。10代男子の心の機微を金子大地がさまざまな涙で丁寧に演じ、ちょっとイタい腐女子の馬力で物語を引っ張った藤野涼子も上等。各話にちりばめられたQUEENの名曲が美しい映像と2人の心象風景にフィットし、キラキラした極上のラブストーリーだった。

NNNドキュメント'19「裁判員裁判10年～死刑判決はなぜ覆るのか～」

6月9日放送 24:55～25:50 読売テレビ放送

裁判員裁判制度がスタートして10年。市民の出した死刑判決が高裁、最高裁で相次いで覆されているという。遺族たちは制度そのものに意味がないと訴える。プロの裁判官が考える死刑判決とは何なのか。大きな節目をとらえて、具体事例や関係者の証言を丁寧に取材し、問題点を整理したタイムリーな企画だった。

ETV特集「パリバイ一家の願い～“クルド難民”家族の12年～」

6月22日放送 23:00～24:00 日本放送協会

正規の在留資格がなく、仕事もできぬまま長期間、日本で暮らすクルド人一家の叫びをすくい取った。日本語もしっかり話せる子どもたちがなぜ働くことができないのか。日本の難民政策の立ち遅れと迷走ぶりを厳しく突いた。トルコを逃れて日本で暮らすクルド人に関する報道が減りつつあるなか、改めて問題に光を当て、スクープ性も高い。

火曜ドラマ「わたし、定時に帰ります。」

4月16日～6月25日 22:00～22:54 TBSテレビ TBSスパークル

「定時に帰る」という主人公の“正義”を振りかざすのではなく、さまざまな価値観で仕事をする人たちと折り合いをつけながら、それぞれの人にとっての働く意味を問い直していく。「働き方改革」が叫ばれるなか、本質的な現代日本の労働環境の病理が鋭く描かれていた。